

省スペース、低ランニングコストで
細胞調製のための高レベル無菌環境を実現
着脱式培養モジュール採用で複数ドナーの細胞・組織が扱える



遠心分離モジュール



除染パスボックス



細胞培養モジュール

CPWS system Cell Processing Work Station

- 澁谷工業株式会社開発による過酸化水素蒸気発生装置を搭載し、チェンジオーバー時にはバリデートされた高レベル除染が可能
- 細胞培養モジュールは着脱式で、台数の追加により複数ドナーの細胞・組織を取り扱い可能
- 大がかりなクリーンルームが不要で、イニシャル、ランニングともに大幅なコストダウンを実現
- 高価な無菌衣が不要で、ランニングコストとともに、作業者の負担を大幅に軽減
- ワークエリアに細胞観察モジュールを搭載し、細胞観察画像は液晶モニターに表示
- 除染パスボックスを装備し、ワークエリアに持ち込む試薬・器具類の外装を過酸化水素蒸気により除染
- 細胞培養モジュール、遠心分離モジュールがドッキングし、セルプロセッシングの一連の工程を無菌を維持したまま実現
- 除染に要する時間を(1/2)に短縮(従来比)
- ジョイントボックスの採用により、ワークエリアの無菌を維持しながら、細胞培養モジュールの入替が可能
- ワークエリアの大型化により、消耗品収納ボックス、細胞観察モジュール収納エリアを確保し、使いやすさを向上

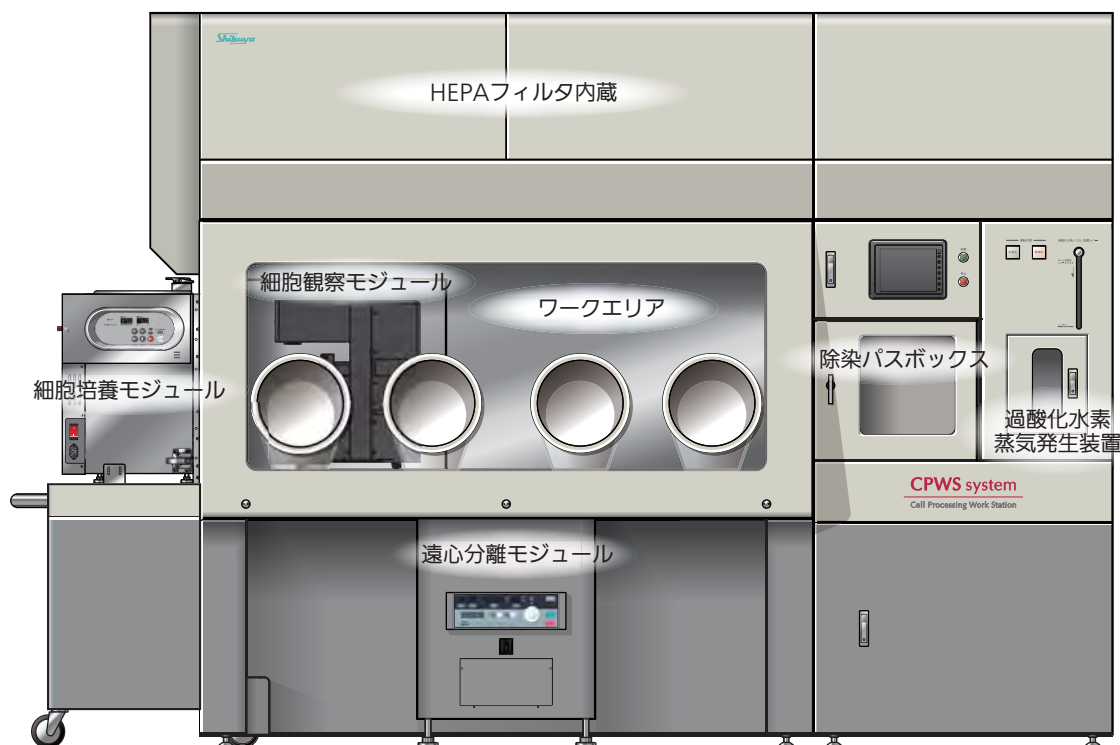
■アイソレーター仕様

本体寸法(外形寸法)	W2920mm×D1100mm×H2230mm(細胞培養モジュール収納部含まず)
ワークエリア寸法	W1796mm×D646mm×864mm
外装	塗装鋼板
内装	ステンレス鋼板(SUS304)
前面ガラス扉	4グローブ式
清浄度	クラス100(ISO5) 設置環境グレードD(ISO8)以上
気流方式	垂直単一方向流型
除染方式	過酸化水素蒸気
内部圧力	60pa デジタル圧力モニター
電源	1φAC200V

■モジュール仕様

◆細胞培養モジュール(CO ₂ インキュベーター)	
外形寸法	W597mm×D561mm×H620mm
内形寸法	W350mm×D378mm×H375mm
内容量	約49L
CO ₂ 制御範囲	0~20%
器内湿度	95%RH±5%
電源	AC100V
◆遠心分離モジュール	
最大回転数	2100rpm
最大遠心加速度	970G
回転数設定範囲	100~2100rpm
遠心加速度設定範囲	10~970G
加速・減速特性	3段階に設定可能
温度制御範囲	4℃~室温
電源	AC100V

■イメージ図



- 仕様及びデザインは性能改善のため予告なく変更する場合があります。
- 弊社は製品の故障について一定の条件下で修理を保証しますが、内容物である試料、試薬等についてはその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 価格はお問い合わせください
- ハーフスーツ型、グローブ数の変更、凍結乾燥機組込等、カスタマイズのご要望に応じます。

パナソニックヘルスケア株式会社
マーケティング本部 バイオメディカ営業統括グループ

ソリューション営業グループ システム提案営業チーム

〒570-8677 大阪府守口市京阪本通 2-5-5
TEL 06-6994-7498 FAX 06-6994-3833

このカタログの記載内容は
2013年2月現在のものです。

1206 B 3920